

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	今井 正司	所属	名古屋学芸大学
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会注意障害研究会		
成果概要	<p><b>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</b></p> <p>会 員 のべ 20 名以上 非会員 のべ 50 名以上</p> <p><b>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</b></p> <p>本年度は、「応用脳科学」に関する研究シンポジウムと「実践研究における測定」に関する研究集会を開催した。応用脳科学に関する研究シンポジウムは、早稲田大学応用脳科学研究所と共催し、研究会メンバーらによる発表が多数行なわれた。本研究会のメインテーマである注意制御機能に焦点をあてた治療法（マインドフルネス認知療法など）に関する基礎研究に加えて、教育場面における学習促進と学校適応に関する基礎研究についても、研究メンバーが発表した。研究集会においては、学校保健の観点から注意制御機能を保持促進するための「基本的生活習慣」などをどのように測定できるかという問題意識を持ちながら、参加者による尺度作成に関するディスカッションが行われた。これらのディスカッションは、養護教諭や保育士、心理士のメンバーが中心となり、神経教育学的な保健教育に関する教育学的意義について検討され、各発達段階における具体的な尺度項目案も作成された。来年度は、これらの研究の進捗状況などをふまえた研究シンポジウムやワークショップを実施したい。</p>		

## 研究集会参加者リスト1

〈研究会名〉				
注意障害研究会				
研究集会開催日：			2017年 2月 27日	
	氏名 (発表者を中心にリスト化)	所属	会員	認定 心理士
1	今井正司	名古屋学芸大学	○	
2	熊野宏昭	早稲田大学	○	
3	村岡慶裕	早稲田大学大学院		
4	大須理恵子	早稲田大学大学院		
5	小牧久見子	早稲田大学大学院		
6	杉中拓央	早稲田大学大学院		
7	松本昇	筑波大学		
8	藤野正寛	京都大学		
9	有光翔理	早稲田大学大学院		
10	大畑佳久	早稲田大学大学院		
11	佐々木彩	早稲田大学大学院	○	
12	鈴木佑梨	早稲田大学大学院		
13	水越 厚史	近畿大学		
14	赤野大和	早稲田大学大学院	○	
15	杉崎きみの	早稲田大学大学院	○	
16	友惠眞理子	早稲田大学大学院	○	
17	田代恭子	早稲田大学大学院		
18	上野聖人	早稲田大学大学院	○	
19	岩垣穂大	早稲田大学大学院		
20	仁田雄介	早稲田大学大学院		

## 研究集会参加者リスト2

〈研究会名〉				
注意障害研究会				
研究集会開催日： 2017年 2月25日				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	今井正司	名古屋学芸大学	○	
2	大村安寿弥	名古屋学芸大学	○	
3	西嶋 涼花	三重県鈴鹿市公立中学校（養護教諭）	○	
4	二宮 奈美	三重県鈴鹿市公立幼稚園（養護教諭）	○	
5	中村 百花	愛知県西尾市公立小学校（養護教諭）	○	
6	杉山 瑞奈	名古屋学芸大学大学院	○	
7	伊藤 匡哉	愛知県刈谷市幼稚園 教諭		
8	野口真梨恵	愛知県稲沢市大里西小学校 養護教諭		
9	高須真理子	愛知県立長久手高等学校 養護教諭		
10	米山 茜	愛知県豊田市立根川こども園 保育士		
11	加藤 昌平	愛知県名古屋市東保育園 保育士		
12	児島 悠希	合同会社ピープル こどもデイサービス 支援員		
13	伊與田万実	名古屋学芸大学大学院		
14	土井 彰子	名古屋学芸大学大学院		
15	後藤 麻友	名古屋学芸大学大学院		
16	原田彩加	名古屋学芸大学		
17	服部加奈	名古屋学芸大学		
18	平田美帆	名古屋学芸大学		
19	伊藤和夏	名古屋学芸大学		
20	泉友理	名古屋学芸大学		
21	金光真優	名古屋学芸大学		
22	腰山香菜	名古屋学芸大学		

	氏名	所属	会員	認定 心理士
23	上原夕輝	名古屋学芸大学		
24	山田奈々	名古屋学芸大学		
25	山田梨沙	名古屋学芸大学		
26	山本瑞紀	名古屋学芸大学		

2016年3月30日

日本心理学会研究会 2016年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会注意障害研究会

研究会番号 16014

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2016年3月30日	製本に伴う事務用品（文具・色紙台紙）	¥2,991
2016年3月30日	製本代・配送代	¥35,640
	支出合計	¥38,631